

歴史から捉えた災害列島

東日本大震災は未曾有の災害と言われます。

しかし、私たち日本の歴史においては、このほかにも幾つもの大規模災害を経験してきました。

歴史を災害という視点から捉え直す機運が高まっています。

例えば、宮城県・多賀城市が古代において経験した貞観地震。

災害列島を歴史という視点から捉え直すと、どのような風景が見えてくるのか。

歴史の捉え直しから、私たちの未来を遠望します。

日時

7月19日(日)

14:00~16:30
〈開場13:30〉

場所

多賀城市文化センター
小ホール

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目27-1
TEL.022-368-0131

入場
無料

宝国寺本堂(多賀城市)

基調講演

「日本の国の形と地震史・火山史」

歴史学者、東京大学名誉教授
ほたて みちひさ

保立 道久氏

1948年東京都生まれ。国際基督教大学教養学部卒業、東京都立大学大学院人文科学研究科修了。東京大学史料編纂所助手、助教授などを経て、2005年から同編纂所所長。現在は、東京大学史料編纂所名誉教授、文部科学省第7期科学技術・学術審議会測地学分科会地震火山部会次期研究計画検討委員会専門委員(歴史学からの選出、2012年12月から)。専攻は、日本中世史。歴史資料の電子化・データベース化に早くから取り組んできたことで知られており、その取り組みの成果は、東京大学史料編纂所で古文書フルテキストデータベースとして公開されている。「九条科学者の会」呼びかけ人を務めている。



パネル討論

「古代多賀城・仙台平野における震災と復興」

【パネリスト】



歴史学者、
東京大学名誉教授
ほたて みちひさ
保立 道久氏



多賀城市教育委員会
事務局文化財課参事
ちば たかみ
千葉 孝弥氏



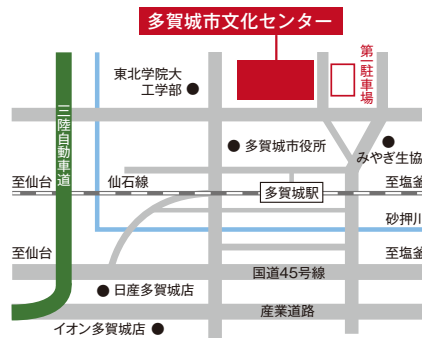
本学教養学部教授
まつもと ひであき
松本 秀明氏



本学文学部教授
さがわ まさとし
佐川 正敏氏



本学文学部教授
ななみ まさと
七海 雅人氏



JR仙石線・仙台駅から普通23分
多賀城駅下車→駅より徒歩7分



〈自動車の場合〉
仙台から国道45号線・産業道路で約25分
盛岡方面から東北自動車道
富谷JCT→仙台北部道路→利府JCT
→三陸自動車道仙台北IC下車約10分

◎お問い合わせ先

東北学院大学 学長室事務課 tel.022-264-6424